

西光寺だより

第二六九号 令和六年 九月一日発行

” 親の意見と なすびの花は 千に一つの あだもなし ”

親の意見は、子どものためと思つてのことだから、茄子の花と同じく、一つとして無駄がない。

夏野菜の一つである茄子。茄子は花が咲くと必ず実をつけるため、あだ花（咲いても実を結ばない花）がないと言われます。

そんな茄子のあり様を引き合いに出し、親の意見に耳を傾けるようにと用いられたのが冒頭の言葉です。親子関係や家族関係の変化もあつてか、最近では耳にすることが減つたように思います。

必ず実が成ると聞いて思い出す花があります。皆さん分かりますでしょうか？

それは仏教で大切にされている蓮です。

蓮が仏教で大切にされる主たる理由は他にありますが、「必ず実が成る」という点も蓮が大切にされる理由の一つです。蓮は花が咲いた時、即座に実が成っています。

南無阿弥陀仏をいただく私たちは命が終わる時、阿弥陀さまのおはたらきによつてすぐさまお浄土に生まれさせていただきます、おさとりのお身である仏さまに成らせていただきます。

今、私たちが「南無阿弥陀仏」と申している姿が、お念仏の華が咲いたおすがた。その私が命終えていく時には、ただ散っていくだけではなく、必ずお浄土に生まれて仏と成る実のある人生を歩んでいるのです。

私は「必ず」と約束されているからこそ、私たちは安心して生きていくことが出来ると受け止めています。

私たちも「必ず」という言葉を口にする必要があります。ですが、私たちの「必ず」は本当に「必ず」でしょうか。

新型コロナウイルス蔓延で普通に出来ていたことができなかったり、お寺に從事させていただいているからこそ、急にご往生の連絡があり、「必ず」という約束が果たせないこともあります。

こうありたいと思つていても、「必ず」と約束しても、どうなつていくかわからない不安定なあり様をしているのが私たちのすがた。そのような私たちこそを救わずにはおれぬと立ち上がって下さったのが阿弥陀さまでありました。

縁によつてはどのようなことになっていくかわからないこの私の為に、私を必ず救うことのできる仏さまとなつてくださいました。南無阿弥陀仏のお念仏の声となつて、今私たちのもとに届いてくださつています。

私たちの人生はいつ、どのようなことが待ち受けているかわかりません。ですが、その私を包み込み、「どのようなあなたであっても必ず仏と成らせる」と私を抱き続けてくださる仏さまがいると聞く所に、安心して生きていける道が開かれていくのではないのでしょうか。

〈大谷本廟〉



◆先月の報告◆

八月十五日（木）十八時より西光寺本堂にて孟蘭盆法要を厳修致しました。

日々の暑さの中、忘れがちになるいのちの繋がりと尊さを思いながら、お勤めを通して感謝の思いを伝える法要。

暑さの中ではありませんでしたが、皆さんで阿弥陀経のお勤め・お焼香をいたしました。ありがとうございました。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆九・十月の行事◆

・九月 〳 在家報恩講

・九月 十七 日（火）

大谷本廟墓参（みのり講・穂積講の方）

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願いいたします。

行かれない方は千円を墓参に行かれる方、または、お逮夜参りの際などによりしくお願いいたします。

・九月 二四 日（火）

仏教婦人会報恩講

午後一時

西光寺本堂

・十月 四 日（金）

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎本願寺派布教使

宮部 誓雅 師